

# 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 倉吉東高等学校

重点項目	大学進学重点校	提出日	平成30年1月31日
------	---------	-----	------------

## 1 学校目標

「倉吉東高のかたち」の理想に沿った様々な教育活動を充実発展させるとともに、主体的な学習者・21世紀の日本を支え、世界をリードする高い志を持った人材の育成をめざす。

## 2 重点項目に係る目標

・中部地区を代表する進学校として、国公立大学等を中心とした大学への進学に対応した教育課程編成に努め、生徒の着実な学力の伸長を図るとともに、生徒・保護者・中学校などからの期待にふさわしい進学実績を維持し、さらなる向上をめざす。

<数値目標>

	現役合格者数	実績			現浪合格者数	実績		
		H28	H27	H26		H28	H27	H26
国公立大学	125名以上	119	140	131				
中堅国公立大学	45名以上	25	37	27	60名以上	30	51	45
難関国公立大学	15名以上	7	16	12	20名以上	8	24	18
東京大学	3名以上	0	2	0	5名以上	1	5	1

## 3 事業計画（事業名、事業概要）

### 【高等学校課事業】

#### ・学校連携チャレンジ・サポート事業

3校合同東京大学対策講座、1年生難関校志望者学習研修を、鳥西生、米東生をはじめとする県下の超難関大学志望者とともに受講、研修を重ねることで、本校超難関大志望者の学習意欲を高めると共に、参加校の教職員との情報交換ならびに本校教職員の教科指導力の向上を図る。

#### ・鳥取県版キャリア教育推進事業

文理選択とキャリア形成（1年）、学部学科研究と進路選択（2年）、大学受験の現状と大学での学習内容（3年）のそれぞれについて、有識者や大学職員を招いて講演を行うことで、生徒の目標設定や意識付けを図る。

#### ・21世紀型能力を育むための講師派遣事業

県外教員との授業実践及び研究・交流、教職員アクティブラーニング理論研修を企画実施することにより、最先端の教科教育法を学び、実践に活かす。

【独自事業】以下の記号はH30年度学校運営に基づく各種事業計画一覧(別添)より引用

### B-1(2)②第3学年勉強会 ③進路指導資料の充実

学力向上対策として、3年生の部活引退後の夏季休業中に5日間連続校内での勉強会を実施することで、今後学校に軸足を置いた学習を展開させるとともに、受験問題集、参考資料等を

整備し、生徒の活用を促進させる。

**B-2 (3) ①タブレット端末活用研修 ②予備校派遣 ③教科指導先進校視察 ④教科指導力向上事業 ⑤「アクティブラーニング」に係わる研修**

教科指導力の向上対策の一環として、タブレット活用研修、予備校研修、先進校視察、校内研究会等を行い、教員の力量を向上させ授業改善を推進する。

**B-2 (4) ①教職員の大学訪問**

大学のアドミッションポリシー、特色ある研究内容等の情報を収集し、蓄積することにより、時代に即した進路指導の充実を図る。

**B-3 ①進路講演会**

保護者連携事業として進路講演会を実施し、生徒、保護者双方が大学入試の現状や大学入試に向けての心構え等について講演を聞き、進路意識の向上を図る。

**三位一体となった倉吉東高の進学指導**

■ 学校独自事業  
■ 高等学校課事業

